

薪割りの技を次世代に！

3月13日（土）ちえの森ちづ図書館

薪割りの技を次の世代へ伝えるとともに、世代間交流を図ろうと、智頭の山人塾とちづ図書館が共催で薪割りの野外講座を開催し、37人が参加しました。

参加者は、薪に使う材や薪割りの仕方について説明を受けた後、薪割りに挑戦しました。

初めて野外講座に参加した参加者は、「薪割りは初めてだったけど、刃が思い通りの場所に入ったらきれいに割れるのが面白かった」と話していました。

今回割られた薪は、図書館のつごいの部屋の薪ストーブで使用される予定です。



薪割りに挑戦する参加者  
身体全体を使って割るのがコツの1つ

藍染め暖簾でPRを！

3月15日（月）山郷地区



暖簾をお披露目する民泊家庭の皆さん

町内外へ本町の民泊をPRし、利用促進や会員の増加を図ろうと、智頭町民泊協議会が藍染暖簾の導入を検討しており、お披露目会が行われました。今回お披露目されたのは9軒分で、順次民泊家庭に広める予定です。

民泊家庭の皆さんは、「人とのつながりが感じられる民泊は、自分にとっても財産。いい暖簾もできたので、今後も民泊の受入れを頑張っていきたいです」と意気込んでいました。

「てご」で掘り出し物を見つけよう！

3月20～21日ちえの森ちづ図書館

本町では、2月から約1ヶ月間、スマートフォンを活用した地域通貨「まちのコイン」の実証実験を行いました。実験の最後の締めくくりとして、フリーマーケットが開催され、図書館の利用者などが訪れました。

来訪者は、現金や智頭の「てご」で商品を購入。中には袋いっぱい物を購入して帰る人も見られました。今回の実験では、約68万てごが流通しました。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



様々なものが出品されました